

SERIES

市町村体育協会だより₂

社団法人九戸村体育協会

北上山系の最北端、岩手県の北部に位置する九戸村は、総面積の70%以上が山林原野で占められ、県立自然公園折爪岳を抱えた季節の移り変わりの美しい自然豊かな村です。

昭和30年戸田村・伊保内村・江刺家村の3村が合併して九戸村が誕生しました。

南北に細長い地形で村の中央を国道340号線が南北に走り、平庭高原を水源地とする瀬月内川が国道とほぼ並行して南から北へ流れ、八戸市から太平洋に注いでいます。

合併後まもなく開催された駅伝大会は、今年度で54回を数え、合併10年後に開催された村民体育大会も今年度で44回を数えることとなりました。

毎年春と秋に開催している「はまなすカップ総合体育大会」は、近隣の中学生を対象に大会の場を与え、心・技・体の向上を図ることと学校間の友好・親睦をはかる目的に開催され有意義な大会

となっています。

以前は、村民体育大会ということで競技的な種目を実施していましたが、いろいろな事情で参加者が減少してきました。それらを踏まえて村民スポーツ・レクリエーション大会に切り替えて生涯スポーツ振興のため、幼児から高齢者までの村民総参加の大会を開催することとしました。種目は、グラウンドゴルフ、ビーチボール、ハイキング、ソフトボールで、気軽に参加できることから好評を博しています。

組織的には、6地区体育協会と12種目別協会で構成されています。

課題としては、組織・体制の整理、財政基盤の確立、生涯スポーツ更なる振興、少子高齢化時代を迎えて効率的な事業の運営・展開を図りながら村民の健康体づくりを図っていかねばならないと考えております。

